

『原子力市民年鑑 2005』 好評発売中

1996年に『脱原発年鑑』としてスタートした原子力資料情報室編の年鑑は、98年から原子力資料情報室の英語名称 Citizens' Nuclear Information Center をもとに『原子力市民年鑑』へと名前を変え、2005年まで計10冊目となります。

お蔭様にて原子力資料情報室の年報+データブックとして定着した感があります。また、有益で便利な情報源としてさまざまな場で活用されてきています。

□ プルトニウムデータ大幅更新

2005年は原子力資料情報室が発足してから30年という節目の年です。原子力資料情報室の原点ともいべきプルトニウム問題に焦点を当てて、データを更新しました。

巻頭論文

- ・新原子力長計策定会議に参加して／伴英幸
- ・美浜3号炉の蒸気噴出11人死傷事故と原発老朽化問題／上澤千尋
- ・六ヶ所再処理工場をめぐる一年／澤井正子
- ・地震と原子力発電所問題2004／武本和幸
- ・JCO臨界事故総合評価会議の調査の概要／古川路明・藤野聡
- ・30年を経て、あらためて原子力を問う／山口幸夫
- ・推進派巻き返しの動きを一皮めくるとー2004年原子力事情／西尾漢

第Ⅰ部 データで見る日本の原発

第Ⅱ部 データで見る原発をとりまく状況

『原子力市民年鑑 2005』

原子力資料情報室編
七つ森書館発行

2005年7月刊

価格：4725円（税込）

※原子力資料情報室の正会員・賛助会員の方には割引販売を致します。詳しくは当室にお問い合わせください。原子力資料情報室（TEL.03-5330-9520 FAX.03-5330-9530）

『原子力市民年鑑 2005』注文票 FAX:03-5330-9530 原子力資料情報室

『原子力市民年鑑 2005』を _____ 冊 注文します。

お名前

1. 正会員・賛助会員
2. 購読会員・非会員

お電話

ご住所（お届け先）